

福祉工学シンポジウム2007

～ メインテーマ「あたり前のことを知る」～

<http://www.assistive2007.org/>

福祉工学シンポジウム2007は、「あたり前のことを知る」をメインテーマとして開催いたします。思い込みや情報不足を減らすための啓発、問題・課題の適切な把握、解決案の検討などなどに、ユーザ、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、社会福祉士などなど、機械工学(モノをつくる側)の観点以外の方々とのご協力も得ながらさまざまな視点より、技術をより有効に適切に活かす道を検討する場にして行きたいと考えております。

皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。



- ◆ **日時** 2007年10月1日(月)～3日(水)
- ◆ **場所** 独立行政法人 産業技術総合研究所 つくばセンター、本部・情報棟、共用講堂
(茨城県つくば市梅園1-1-1)
 - ▶ 東京駅より高速バス「つくばセンター」行き65分、並木2丁目下車
 - ▶ 秋葉原駅よりつくばエクスプレス「つくば駅」行き45分(快速)、バス・並木2丁目下車、あるいはタクシー
- ◆ **内容**
 - ▶ 特別講演(市民公開講座)
 - ✓ 「デンマーク王国の高齢者居宅介護促進プロジェクト『Be Safe』におけるアザラシ型ロボット・パロによるロボット・セラピー」/Ms. Lone Gaedt(デンマーク認知症プロジェクト(Be Safe)リーダー)
 - ✓ 「人の活動を支援するロボットスーツHAL」/山海嘉之(筑波大学 機能工学系 教授)
 - ▶ 実行委員会企画プログラム
売れる知能化福祉機器とは・逆発表会—工学に期待すること・寝たきりを福祉工学で救えるか・技術者と福祉従事者のコラボレーション・オプタコンの残したも、伝えるもの・夢の視覚障害歩行補助機器を考える・展示体験コーナー
 - ▶ 一般講演 68演題(16セッション)
- ◆ **参加登録費** 一般:5,000円、学生:2,000円
(保健・医療・福祉関連職/ユーザには一部割引があります)
(講演論文集、懇親会参加費は別料金になります。市民公開講座と展示体験コーナーは無料です)
- ◆ **主催** 日本機械学会 4部門合同企画
ロボティクス・メカトロニクス部門(幹事部門)、機素潤滑設計部門、機械力学・計測制御部門、バイオエンジニアリング部門
- ◆ **共催** (独)産業技術総合研究所
- ◆ **併催** 第23回ライフサポート学会大会、第7回日本生活支援工学会大会
(本シンポジウム登録者は自由に聴講できます)
- ◆ **問合せ先** staff@assistive2007.org シンポジウム事務局(実行委員長 小野栄一)